

「仕事」にも不思議な効力がある！

48. 前向きな失敗には“一粒の成功”が混じっている！

失敗の延長にこそ、成功の種が眠っています。

失敗とは何なのでしょう。失敗には二つあります。一つは成功に行きつく途中で生じるミスです。

もう一つの失敗は目的に到達できなかった場合です。あることを始めて、途中であきらめる。目的に到達できなかったのですから失敗です。多くの人が犯す失敗はうまくいかなくてあきらめる失敗のほうです。

誰も失敗したくないと思っていますが、失敗したことがない人はいません。失敗は普通のことなのに、多く的人是に失敗を嫌います。たしかに失敗はうれしいことではありませんが、失敗を避けていたら、なかなか成功にはたどりつけません。どんなことであれ、成功の秘訣は失敗に強くなることにあるのです。

日本を代表する自動車会社ホンダを創業した本田宗一郎さんは「自分のやってきたことの九九パーセントは失敗だった」と言っています。この言葉は何か挑戦しようとしている人に大きな勇気を与えてくれる言葉です。

あなたもいろいろ挑戦してみたいことはあるはず。でも、やる気はあるけれど、一歩踏み出せないでいる人が多いと思います。とくに仕事の失敗は成績に関係するので怖い。失敗を少なくしたいと思うために消極的になっている人がビジネスの世界には大勢います。

マーフィー博士は「失敗の原因は二つある」と言っています。一つは自信のなさです。何でも自信たっぷりで行っているとよい結果が出る。自信が持てないことは得てして失敗します。失敗したくないと思ったら、何はともあれ「自分にはできるんだ」と自信を持って取り組むことです。

もう一つの失敗の原因は力みすぎだと博士は言います。力みすぎると、ふだんのも力も出なくなる。課題に取り組むときはリラックスしてやるのが大切です。一番いけないのは「だめだろう」とか「困った」といったマイナスの意識で取り組むことです。なぜなのか、もうおわかりのはず。潜在意識にわざわざ失敗するような刻印をしているからです。いずれ結果はどちらかに出るのですから、自信を持って肩の力を抜いて気楽にやってみる。あとは潜在意識任せでいいのです。

三笠書房

マーフィー 運がよくなる魔法の練習帳 マーフィー理論研究会 編著